非核平和学習会

ことしは8月4日から6日までの3日間、市内小学校から9人を広島市に派遣。被爆者の話を聞いたり、平和記念資料館を見学したりしたほか、平和記念式典に参列しました。

子どもたちが学習会を通して学んだことや感じたことを紹介します。

※掲載している感想は、この学習会に参加した児童が書いた感想文の抜粋です。全文は文集に取りまとめ本庁総務課に備え付けているほか、市ホームページに掲載しています

南城小5年
岩舘 慧志 さん

ぼくは、8月4日から6日まで広島に行って、非核平和学習会に参加してきました。

ぼくは、この三日間で、原爆や戦争のおそろしさを知ることができました。ぼくたちにお話をしてくださった方全員が、二度と戦争をしてはいけない、核兵器を使ってはいけない、とお話しされました。ぼくたち一人一人がそう思うことが平和につながるのだと思います。けれども、世界にはまだ核兵器を持つ国が多くあります。戦争や核兵器によって広島の悲げきがくり返されないように、ぼくはこの学習会で学んだことを多くの人に伝えていこうと思います。

花巻小6年
高橋 芳羽 さん

私は、原爆や戦争の恐ろしさを学ぶために非核平和学習会に参加しました。

1日目は広島赤十字・原爆病院を見学しました。2日目は被爆体験講話で実際に体験した原爆の話を聞きました。3日目は平和記念式典に参列しました。

今回、このように広島に行って、原爆のことを深く考えることができ、とてもいい経験になりました。戦争は二度とあってはいけないことです。私は、このことを自分の心の中で思うだけではなく、少しでもいいから、周りの家族や友達に伝えていけたらと思っています。

八重畑小6年
高橋 美羽 さん

私は非核平和学習会に参加して、広島へ8月4日から6日まで行ってきました。きっかけは、最近、テロで多くの命が失われている国があります。私たちが、いつ戦争にまきこまれてもおかしくない世の中です。今回の非核平和学習会で戦争の恐ろしさや悲惨さを学びたいと思ったことでした。

私は非核平和学習会で学んだ、原爆の悲惨さを家族や友達、周りの人たちに伝えて、二度と戦争をくり返さない平和な世界であるように心から願います。

新堀小5年
川原 千知 さん

私は、「非核平和学習会」でとても心に残っていることが二つあります。

一つ目は、実際に被爆した方からお話を聞くことができる「被爆者体験講話」です。お話を聞いて、私は、原爆が投下された8月6日だけではなく、あの日からずっと、今でも苦しんでいる方がいらっしゃることを知りました。

二つ目は、原爆病院の資料館のことです。放射線で病気になった人達の体(脳や肺、目玉、水晶体など)が薬品の中に入って保管されてあり、原爆の悲さんさが一瞬でわかりました。

私は「非核平和学習会」に参加して、原爆や核兵器をもう二度と作ったり、使ったりしてはいけない!! そう強く感じました。

桜台小5年
小野 大耀 さん

ぼくは8月4日から6日まで平和学習会で広島に行ってきました。

三日目は、平和記念式典に参加してきました。広島市長の平和宣言や合唱のあと、8時15分にもくとうをしました。ぼくは突然、一つしかない命をうばわれたたくさんの人のことを思いながらもくとうをしました。

式典が終わってから平和記念公園にある、「平和の灯火」の事を思い出しました。灯火は全世界にある核兵器が無くなるまで燃えつづけます。72年前の過ちを二度とくり返さないように、平和への一人一人の意識が大切だと思いました。この世界から戦争が一日も早く無くなることを祈ります。

笹間第二小6年
鈴木 嵩生 さん

僕は、原爆の怖さ、原爆とはどういうものなのかを知りたいと思い非核平和学習会に参加しました。

世界には、今も戦争している国があり、不安な生活を送る人たちがたくさんいます。一日も早く世界が平和になるように学習会で学んだことを、一人でも多くの人に伝えていきたいです。また、このような過ちを二度とくり返さないためにも、核兵器をぜったいになくさなくてはなりません。今僕達がくらしている平和な日本に感謝し、世界の人達が協力し合って平和で安全な世の中になる事を心から願っています。

八重畑小5年
佐藤 葵 さん

昭和20年8月6日午前8時15分B-29(エノラ・ゲイ)からのたった一発の原子爆弾の投下により約14万人の尊い命が一瞬のうちに無くなってしまいました。この戦争の恐ろしさや怖さ、そして、その後、原爆から逃れ、助かった人たちがどのように生きて来たのかが知りたくなりこの非核平和学習会に参加しました。

ぼくは今回の非核平和学習会に参加してみて、平和の大切さや戦争の恐ろしさなどを改めて肌で感じました。この貴重な体験で学んだことをたくさんの人に伝え、戦争のない世の中になるよう、自分にできることは何かを考え、行動していきたいと思います。

湯本小6年
レヴィン小倉 丈士 さん

僕は広島に行って二泊三日でたくさんのことを考えた。みんなと仲良くやって行けるか最初は不安だったけれど、みんなと行動していくうちに慣れることができ楽しく学んできた。

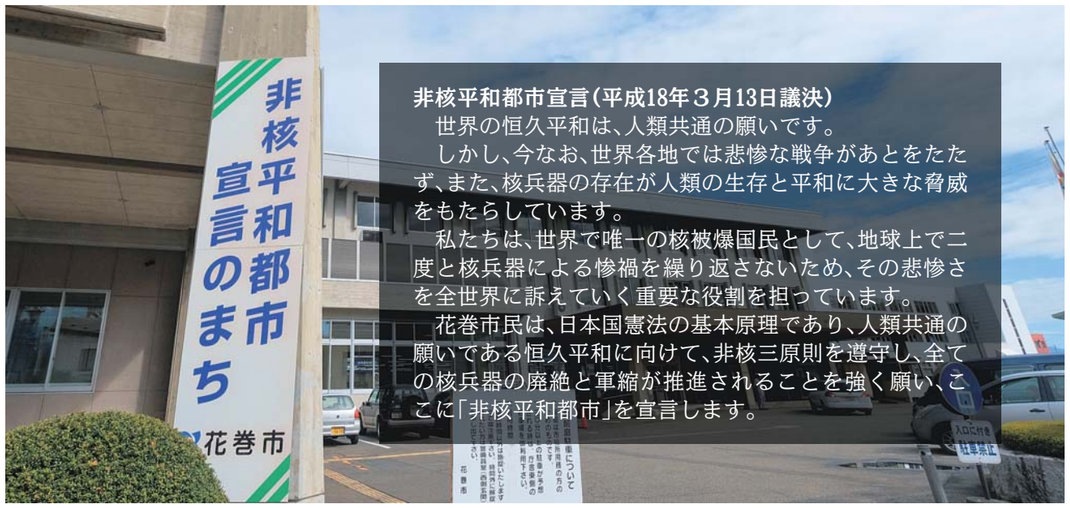
もし大人になったら自分の力で広島に行きまた原爆ドームや宮島のいつく島神社に行きたい。今度は広島と宮島を一周してみたい。その時は今よりたくさんのことをもっと学びたい。

原子爆弾の恐ろしさや広島の人々の苦しみ、それに、昔の景色、今の景色そして今の広島の町。それが、僕の心の中に染み込んだ非核平和学習会だった。

矢沢小5年
武山 芽衣 さん

私は8月4日から6日まで「非核平和学習会」に参加し広島に行って来ました。

私たちの住む日本は今、戦争をしない国で平和なことは事実ですが、今もかく兵器を保有している国があることも事実です。だからいつどこの国に原爆が投下されるか分かりません。そんなことはあってはならないことだと思います。私は少しでもかく兵器や戦争のない、「世界平和」がじつげんされることを願っています。



非核平和都市宣言(平成18年3月13日議決)

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

しかし、今なお、世界各地では悲惨な戦争があとをたたず、また、核兵器の存在が人類の生存と平和に大きな脅威をもたらしています。

私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、地球上で二度と核兵器による惨禍を繰り返さないため、その悲惨さを全世界に訴えていく重要な役割を担っています。

花巻市民は、日本国憲法の基本原理であり、人類共通の願いである恒久平和に向けて、非核三原則を遵守し、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、ここに「非核平和都市」を宣言します。